

平成九年三月二十日

說話研究会 識

目次

一 拘那羅太子扶眼依法力得眼語 (卷四第四話)	一
二 三獸行菩薩道兔燒身語 (卷五第十三話)	一〇
三 嫗每日見卒堵婆付血語 (卷十第三十六話)	一六
四 推古天皇造本元興寺語 (卷十一第二十二話)	二三
五 紀伊國道成寺僧写法花救蛇語 (卷十四第三話)	二八
六 幡磨國賀古馱教信往生語 (卷十五第二十六話)	三五
七 參長谷男依觀音助得富語 (卷十六第二十八話)	三九
八 竜王為天狗被取語 (卷二十第十一話)	四八
九 時平大臣取國經大納言妻語 (卷二十二第八話)	五五
十 陸奥前司橘則光切殺人語 (卷二十三第十五話)	六六
十一 安倍晴明隨忠行習道語 (卷二十四第十六話)	七三

十三	藤原為時作詩任越前守語 (卷二十四第三十話)	七九
十三	源充平良文合戰語 (卷二十五第三話)	八四
十四	藤原保昌朝臣值盜人袴垂語 (卷二十五第七話)	八九
十五	美作国神依獵師謀止生贖語 (卷二十六第七話)	九五
十六	参官朝序弁為鬼被噉語 (卷二十七第九話)	一〇五
十七	近江国安義橋鬼噉人語 (卷二十七第十三話)	一〇九
十八	近衛舍人共稻荷詣重方值女語 (卷二十八第一話)	一一六
十九	歌詠元輔賀茂祭渡一条大路語 (卷二十八第六話)	一二三
二十	不知知人女盜人語 (卷二十九第三話)	一二六
二十一	於鈴香山蜂螫殺盜人語 (卷二十九第三十六話)	一三六
二十二	平定文假借本院侍從語 (卷三十第一話)	一四五
二十三	湛慶阿闍梨還俗為高向公輔語 (卷三十一第三話)	一五七
二十四	近江国栗太郡大柞語 (卷三十一第三十七話)	一六一

影印 (鈴鹿本今昔物語集・京都大学附属図書館蔵)

一	養由天現十日時射落九日語 (卷十第十六話)	一六四
二	李広箭射立似母巖語 (卷十第十七話)	一六五
三	霍大將軍值死妻被打死語 (卷十第十八話)	一六七
四	美濃国紀遠助值女靈遂死語 (卷二十七第二十二話)	一六九
五	獵師母成鬼擬噉子語 (卷二十七第二十三話)	一七一
六	狐託人被取玉乞返報恩語 (卷二十七第四十話)	一七五
解	說	一八〇

〔関連資料〕『大唐西域記』卷七「婆羅痾斯国」、『法苑珠林』「供養篇 引証部」、僧良寛「月の兔」、芥川龍之介「今昔物語に就いて」。

一一 三獸行菩薩道兔燒身語

(三つの獸菩薩の道を行ひ、兔身を焼く語)

今昔、天竺ニ兔狐猿、三ノ獸有テ、共ニ誠ノ心ヲ発ラコシテ、菩薩ノ道ヲ行ヒケリ。各思ハク、「我等前世ニ罪障深重ニシテ賤キ獸ト生タリ。此レ前世ニ、生有ル者ヲ不哀ズ、財物ヲ惜テ人ニ不与ズ、如此クノ罪ミ深クシテ、地獄ニ墮テ苦ヲ久ク受テ、残り報ニカク生タル也。然レバ此ノ度ヒ、此ノ身ヲ捨テム」。年シ我ヨリ老タルヲバ祖ノ如クニ敬ヒ、年我ヨリ少シ進タルヲバ兄ノ如クニシ、年我レヨリ少シ劣タルヲバ弟ノ如ク哀ヒ、自ラノ事ヲバ捨テ他ノ事ヲ前トス。天帝尺、此レヲ見ミ給テ、「此等、獸ノ身也ト云ヘドモ難有キ心也。人ノ身ヲ受タリト云ヘドモ、或ハ生タル者ヲ殺シ、或ハ人ノ財ヲ奪ヒ、或ハ父母ヲ殺シ、或ハ兄弟ヲ讎敵ノ如ク思ヒ、或ハ啖ノ内ニモ

天帝尺―帝釈天。ヒンドウ―教のインドラ神が仏教に取り入れられ、仏法の守護神となる。

悪シキ思ヒ有リ、或ハ恋タル形ニモ嗔レル心深シ。何況ヤ、如此ノ獸ハ実ノ心深ク難思シ。然レバ試ム」ト思シテ忽ニ老タル翁ノ無力ニシテ羸レ無術氣ナル形ニ変ジテ、此ノ三ノ獸ノ有ル所ニ至給テ宣ハク、「我レ年老ヒ羸レテ為ム方無シ。汝達三ノ獸、我レヲ養ナヒ給ヘ。我レ子無ク家貧クシテ食物無シ。聞ケバ、汝達三ノ獸、哀ミノ心深ク有リ」ト。三ノ獸此ノ事ヲ聞テ云ク、「此レ我等ガ本ノ心也。速ニ可養シ」と云テ、猿ハ木ニ登テ、栗・柿・梨子・棗・柑子・橘・菫・椿標・郁子・山女等ヲ取テ持来リ、里ニ出テハ瓜・茄子・大豆・小豆・大角豆・粟・稗・黍ヒ等ヲ取テ持来テ好ミニ随テ令食シム。狐ハ墓屋ノ辺ニ行テ人ノ祭り置タル糝・炊交・鮑・鯉・種々ノ魚類等ノ取テ持来テ思ヒニ随テ令食ムルニ、翁既ニ飽満シヌ。如此クシテ日来ヲ経ルニ、翁ノ云ク、「此ノ二ノ獸ハ実ニ深キ心有リケリ。此レ既ニ菩薩也ケリ」ト云フニ、兔ハ励ノ心ヲ発シテ、燈ヲ取り、香ヲ